

第1回岐南町上下水道事業経営審議会議事録（要旨）

日 時：令和7年4月30日（水） 14：00～15：55

場 所：岐南町役場 4階 4－1会議室

出席委員：7名

事務局：板橋 篤志（基盤整備部長）、廣井 浩一（上下水道課長） 外3名

1 開会

2 辞令書交付

3 委員自己紹介

4 審議会の設置条例

5 議題

（1）委員長、副委員長の選出

（2）審議会の公開について

審議会は原則公開。ただし、発言者については非公開とする。

（3）審議事項

① 諮問

水道料金、下水道使用料のあり方について諮問した。

② 審議会の目的

審議会を設置する目的について説明した。

③ 上下水道事業経営戦略について

- ・上下水道事業経営戦略に基づき、各事業の事業概要・経営状況・料金概要・事業計画・経営指標による現状分析・将来予測について説明した。

- ・岐南町の水道料金・下水道使用料について、委員長から「町民感覚で安さを実感しているか。」という問いに対し、委員からは「他市町との比較をしたことがない」との意見や「最近知った」という意見があった。

- ・委員から「水道・下水道事業の会計情報を町民に公開していなかった理由」に対し事務局からは「他市町と比較して料金が安いいため説明の必要がないと感じていた。」また、「岐南町のコンパクトな町づくりがコスト削減に寄与し、水道料金を低く設定できたと考えている。」と回答した。

- ・委員からは、水道料金・下水道使用料への理解を促すための情報発信が必要との意見が出た。

- ・下水道事業において税収から繰入れられていることについて、各委員からは「実感がない。」、「上下水道事業は受益者負担で運営すべきで、税金を福祉などに回すべき。」との意見があった。また、「会計が別であることは理解できるが、住民目線では料金の改定は気持ち的に引っかかる」との意見もあった。

最後に、「一般会計からの繰入金を減らすためには下水道使用料を上げる以外に手段はないのか。」という意見に対し、事務局から「水道事業、下水道事業は独立採算制である。しかし、下水道事業は一般会計からの繰入金が多く、経営状態としては繰入金に依存している状態である。」と回答があった。

- ・委員から「下水道事業の費用（コスト）は適正であるか議論することが大事である。下水道が都市の公衆衛生向上に寄与することは下水道事業に行政が税金を投入することの根拠になる。そのため、下水道事業においては受益者負担が必ずしも適切とは言えないのではないか。」との意見があった。

- ・委員長より、上下水道事業のコストを確認できる資料を提供するよう事務局へ求めた。

④ 審議会のスケジュールについて

今後の審議会スケジュールについて確認した。

(4) その他（次回の日程、内容について）

次回審議会は6月27日（金）14時から開催すること、水道料金の改定（案）についての審議を諮ることを確認した。

6 閉会

以上